



ARCHITECTURE REVIEW



建築見て歩記 その68

名古屋市天白区に建つ、「アーク・イオ」です。地上階には商業施設が入り上層は集合住宅になっています。吉柳満の設計で、1982年に完成しました。吉柳氏は、名城大学を卒業後、名古屋と故郷の福岡で作品を作っています。この作品は、美しいプロポーションと、空間の意外性を合わせ持つ、質の高い建築だと思います。市内にはアークシリーズが幾つか現存しています。

CURRENTLY WORKS



木造住宅のリフォーム・・・夢と驚きのある住まい 2

前回と同じLDKのキッチン側です。上部には、家族をお迎えするような下り天井があり、キッチンの手前にはオリジナルデザインのダイニングテーブルが造り付けられています。左奥には「家型」のパントリー収納を据えました。ここは、小さなお子さんたちに喜んでもらえたようです。LDKと一体化した場として増床したテラスも良い遊び場になりそうです。

PRIVATE TOPICS

コロナ
戦争
ウッドショック

岡島の「経営哲（明）学」…逆境に負けず進む！

コロナ禍・戦争・ウッドショック…世界中に影響を与え、物価も上昇中…景気上昇の要素も多いはずですが、今はスタグフレーションの状態だと思います。我々の業界も、木材とともに建築資材も値上がりしています。医療施設を総合的に企画するものとして、施設の価値を失わずコストを抑えることが強く求められます。そこに一層のやりがいを感じています。

EDITORIAL NOTE

3月は卒業式の季節です。日本では、幼稚園から小・中・高、大学まで、一斉に卒業式が行われます。これは、1872年の学制施行から「卒業証書授与式」として制定されて以降、続く日本特有の風景です。欧米では、大学の学位授与の式典はあるものの、その他の学校では、卒業式は行われないそうです。

編集担当：太田・藤原、監修：岡島